

ハートスタート HS1 機器説明



①引いて電源ON
→自動的に音声ガイダンススタート



②パッドを患者の胸に装着してください
→解析ランプが点滅します



➢「i」インホメーションボタンを押すと
→機器の現在の業態を音声でご案内します

点滅:使用可能
消灯:使用不可

③ショックボタン
→ボタンを押してショック実行

➢電源ボタンON/OFF
→電源ボタン長押しで、電源OFF

AED使用した心肺蘇生法

1)反応の確認をする

肩を軽く叩きながら「わかりますか？」などと2~3回呼びかけます。



事前に周囲の状況を確認します。

2)大声で協力を求める

「誰か来てください！
人が倒れています。」



人が倒れてます>あなた119番報通報してください。
あなたAEDをもってきてください。

※不安な方は119番の通信指令員から、心臓マッサージ要領を確認できます。

3)呼吸の確認をする

胸または腹部の上下動を10秒以内で確認します。

普段どおりの息がなければ胸骨圧迫を行ないます



※気道を確保する必要なくなりました。

4)胸骨圧迫30回

人口呼吸を2回を繰り返す

圧迫速さ 1分間

少なくとも100回

圧迫の強さ 胸の真ん中

少なくとも5cm



※感染防止具等なく、手技が不安な方は呼気吹き込みは不要です。

5)AEDの電源を入れる



緑のハンドルを引くと自動的に電源が入ります



電源を入れた後は、音声メッセージで案内されます。

6)電極パッドを傷病者の胸にはる

カードリッジから電極パッドを取り出し、表面に描かれている位置に貼ります。



『絵の通りにパッドを貼ります。』



パッドが貼られると自動的に解析が始まります。

7)解析



『身体に触れないでください。解析中です。』



心電図が自動的に解析され、除細動の適応であれば点滅しているオレンジのボタンを押すように指示がでます。

8)除細動を行う ショックボタンを押します。



『ショックが必要です。身体から離れてください。点滅しているオレンジのボタンを押してください。』



自動的にエネルギーが充電され、オレンジのボタンが点滅します。
このとき、以下の安全確認を必ず行ないます。

- 声を出して離れるよう指示します。
- 手振りでも離れるように指示します
- 身体に誰も触れていないのを確認します。



その後に
ショックボタンを
押します。



9)直ちに心肺蘇生を再開する

- 胸骨圧迫を再開します。(呼気吹き込み省略可)
- 2分間の心肺蘇生の後にAEDが再度自動解析し、除細動が必要かどうか指示します。

何らかの応答や体動があってもパッドは貼ったままにします。
※患者の状態が変化すると、AEDが反応します。

何らかの応答や目的のある仕草(例えば嫌がるなどの体動)、あるいは救急隊が到着し引継ぐまで続けます。

「I」ボタンを押すと、救急蘇生法を補助する
音声メッセージ(CPRコーティング機能)を聞くことができます。

★ AEDの使用時の注意点

- 1 汗や水で身体が濡れているとき
→ タオルなどで拭き取ってからパッドを貼る
- 2 胸毛が濃いとき
→ 体毛を除去してからパッドを貼る
- 3 パッドを貼る位置に湿布薬等が貼られているとき
→ はがしてからパッドをはる
- 4 ペースメーカーなどの機器が埋め込まれているとき
→ 埋め込み位置から8cm位離れたところに貼る
- 5 ネックレスなどがあるとき
→ 胸部周辺の金属類を取り除いてからショックを実行する



本商品に関するお問い合わせ先
ALSOK総合警備保障(株)名古屋支社
金山営業所 担当:宮川宙太
TEL:052-323-2081

Always Security OK

ALSOK

名古屋市熱田区大宝三丁目6番28号
株式会社グリーントラベル
電話<052>681-8121番